

1 評価の観点及びその趣旨

観 点		趣 旨
①	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題点を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

2 年間指導計画

月	単元	学習事項(指導内容)	時数	観点	評価規準	評価方法
4	1 いろいろな生物の共通点	1 生物の観察と分類のしかた(継続観察) ・身近な生物の観察 顕微鏡の使い方 ルーペの使い方 スケッチの仕方 ・生物の特徴と分類	6	③ ② ① ② ①	・身近な生物に関心を持ち、進んで観察しようとする。 ・身近な生物に関して、目的意識をもって観察などを行い、生育環境について自らの考えを導き表現している。 ・顕微鏡やルーペの使い方、スケッチの仕方などを習得するとともに、生物の調べ方の基礎を身に付けている。 ・いろいろな生物がさまざまな場所で生活していること、水や光の量により生育する植物の種類や生育状況に違いがあることについて理解し、知識を身に付けている。	・観察レポート タンポポの花の観察 オオムラサキの観察 ・授業への取り組み ・ワークシート ・定期考査 ・家庭での課題
5		2 植物の分類 ・果実をつくる花のつくり ・花をさかせず種子をつくらぬ植物		18	③ ② ① ①	・いろいろな生物のからだのつくりとしくみ、分類に関心を持ち、進んで生物を検索し生物を知ろうとする。 ・生物を観察し、その結果から生物のからだのつくりの規則性と生物の分類の観点を明らかにする。 ・身近な生物を観察し、結果の記録や整理などの技能の基礎を身に付けている。 ・生物のからだのしくみと生物を分類する共通点や相違点を理解し、知識を身に付けている。
6		3 動物の分類 ・セキツイ動物 ・無セキツイ動物 ・動物の分類表作成	7		③ ① ② ② ① ①	・物質の性質の調べ方や気体の発生、性質などに関心を持ち、進んで実験しようとする。 ・物質の性質や気体の発生、性質などの観察実験を行い、その結果をまとめ、規則性を見出し、表現している。 ・物質の性質や気体の発生、性質などの実験結果を正しく記録し、結果をわかりやすくまとめ、自分の考えを表現しようとしている。 ・物質の性質や気体の発生とその性質などの基本的な概念や原理法則を理解し、知識を身に付けている。
4	2 身の回りの物質	1 身の回りの物質とその性質 ・物の調べ方 ・金属と非金属 ・金属の見分け方 ・白い粉末の見分け方 ・実験器具の使い方	13	③ ① ② ② ①	・物質の溶解、溶解度と再結晶に関心を持ち、科学的に探求しようとする。 ・目的意識をもって観察、実験を行い、粒子のモデルと関連づけた溶質の均一な分散などについて、自らの考えをまとめたり、表現している。 ・物質の溶解、溶解度と再結晶に関する観察、実験の基本操作を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身につけ、自分の考えを表現しようとしている。 ・水溶液中では溶質が均一に分散していること、水溶液から溶質を取り出すことなどについて基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	・実験レポート 水にとける物質のようす ・授業への取り組み ・ワークシート ・定期考査
5		2 気体の性質 ・気体の性質と集め方		7	③ ① ② ① ①	・物質の状態変化や沸点、融点などに関心を持ち、進んで実験しようとする。 ・物質の状態変化や沸点融点などの実験をし、その結果をわかりやすくまとめ、自分の考えを表現している。 ・状態変化と熱、物質の融点と沸点に関する観察、実験の基本操作を習得するとともに、記録の仕方を身に付けている。 ・状態変化における体積と質量の変化、物質は融点や沸点を境に状態が変化すること、沸点の違いによって物質の分離ができることなどについて、知識を身に付けている。
6		3 水溶液の性質 ・物質が水にとけるようす ・ろ過 ・溶解度と再結晶	7		③ ① ② ① ③	・光の反射、屈折や凸レンズのはたらき、音の性質に関心を持ち、進んで実験しようとする。
7		4 物質の姿と状態変化 ・物質の状態変化 ・状態変化と体積、質量の変化 ・状態変化が起こるとき温度と蒸留(融点と沸点)		7	③ ① ② ① ① ③	
7	1 光の世界 ・物の見え方			③	・光の反射、屈折や凸レンズのはたらき、音の性質に関心を持ち、進んで実験しようとする。	・実験レポート 光の反射、屈折 音の大きさと高さ

9 10 11	3 身の回りの現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の反射 ・光の屈折 ・レンズのはたらき 	10	②	<ul style="list-style-type: none"> ・光が反射、屈折するときの規則性、凸レンズのできる像、音の発生と伝わり方、音の高さや大きさの違いについて実験を行い、結果をまとめて考えを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・ワークシート ・定期考査
		<ul style="list-style-type: none"> 2 音の世界 ・音の伝わり方 ・音の性質 	5	① ② ①	<ul style="list-style-type: none"> ・光の反射、屈折や凸レンズのはたらき、音の性質に関する観察実験の基本操作を習得するとともに、結果の記録や整理の仕方を身につけている。 ・光が反射、屈折するときの規則性、凸レンズのできる像、音の発生と伝わり方、音の高さや大きさの違いについて、知識を身につけている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 3 力の世界 ・日常生活のなかの力 ・力のはかり方 ・力の表し方 ・力のつり合い 	11	③ ② ① ② ①	<ul style="list-style-type: none"> ・力のはたらき、2力のつり合いに関する現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする。 ・力がはたらいた物体の形や運動の様子の变化、2力のつり合いなどについて実験を行い、考えをまとめ表現している。 ・力のはたらき、2力のつり合い、圧力に関する観察実験の基本操作を習得するとともに、結果の記録や整理の仕方を身につけている。 ・物体に力がはたらくと変形したり、運動の様子が変わったりすること、力は大きさと向きによって表されること、2力のつり合いの条件などについて知識を身につけている。 	
12 1 2 3	4 大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> 1 火をふく大地 ・火山の姿からわかること ・火山がうみ出す物 ・火山活動と火成岩 ・火山とともにくらす 	9	③ ① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・火山活動と火成岩、地震の伝わり方と地球内部の動きに進んで関わり、科学的に探求しようとする。 ・火山の形や活動のようす及び火山噴出物とマグマの性質との関連、火山岩と深成岩の組織の違いと成因との関連、地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性、地震の原因と地球内部のはたらきとの関連などについて、また、自然と人間の関わり方について自らの考えをまとめ、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察レポート 火山灰の観察 ・実習レポート 地震波の分析 ・授業への取り組み ・ワークシート ・定期考査
		<ul style="list-style-type: none"> 2 動き続ける大地 ・地震のゆれの伝わり方 ・地震が起こるところ ・地震に備えるために 		8	① ① ② ③	
		<ul style="list-style-type: none"> 3 地層から読み取る大地の変化 ・地層のつくりとはたらき ・堆積岩 ・地層や化石からわかること ・大地の変動 ・身近な大地の歴史 	11	③ ① ② ① ①	<ul style="list-style-type: none"> ・地層の重なりと過去のようすに関心をもち、それらを科学的に探求しようとするとともに、自然環境の保全に進んで寄与しようとする。 ・地層の重なり方や広がり方についての規則性、地層と其中的化石を手がかりとして過去の環境と地質年代を推定などについて自らの考えを導いたりまとめたりして表現している。 ・地層の重なりと過去のようすに関する野外観察などの基本操作を習得するとともに、結果の記録や整理の仕方を身につけている。 ・地層の重なり方や広がり方についての規則性、地層と其中的化石を手がかりとして過去の環境と地質年代を推定できることについての基本的な概念を理解し、知識を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポート ・授業への取り組み ・ワークシート ・定期考査